

第9回事事故例巡回セミナー開催について

石油化学工業協会

本巡回セミナーは各種事故への対応、事故原因究明の経験等をもつ業界先輩の生の声で事例、現場管理の要点の紹介をコンビナート地区にて行い現場管理者の気づきの機会とするもので、第9回目を7月30日(火)に開催した。

今回は、元 三菱化学(株) 理事・安全工学センター長の猿丸氏と元 旭化成ケミカルズ(株)環境安全部長の清水氏に講師をお願いし、JSR(株)四日市研修センターの大会議室で開催した。四日市地区の石化協会員各社の現場管理者、本社の保安関係者など約90名が参加し、半日にはわたり熱心に聴講した。

はじめに、JSR(株)を代表して同社の中澤四日市工場長及び主催者を代表して石油化学工業協会の村磯保安・衛生小委員長の挨拶が行われた。

続いて、猿丸氏からは、最近の化学プラントの重大事故等を取り上げ、事故の要因の説明とともに設備変更管理、教育訓練等、これらの事故に共通する問題点について講演が行われた。また、日本と欧米の保安に対する考え方の違いについても言及された。

清水氏からは、化学プラントの保安力と現場管理者の役割について、環境安全関係業務に携わっておられたときの実体験を通して、多くの具体例を用いて講演が行われた。

最後に、JSR(株)の環境安全部の鶴岡部長から閉会の挨拶が行われ、盛況のうちに終了した。

記

1. 日 時 2013年7月30日(火) 13:30~17:00

2. 場 所 JSR(株) 四日市研修センター 大会議室

3. 参加対象

石化協会員の四日市地区の事業所の製造課長等

4. 参加者数 15社約90名

5. プログラム

時 間	内 容 (敬称略)
13:30~13:40	挨 拶 JSR(株) 上席執行役員四日市工場長 中澤 和美 石油化学工業協会 保安・衛生委員会 保安・衛生小委員長 村磯 肇
13:40~15:10	講演1. 「近年の事故事例を学ぶ」 猿丸 浩平 (元三菱化学(株) 理事・安全工学センター長)
15:10~15:20	休 憩
15:20~16:50	講演2. 「化学プラントの保安力と現場管理者の役割」 清水 健康 (元旭化成ケミカルズ(株)環境安全部長)
16:50~17:00	挨 拶 JSR(株) 環境安全部長 鶴岡 健

6. 講演概要

講演概要は以下のとおりであった。

(1)「近年の事故事例を学ぶ」

最近の化学プラントの重大事故等の原因は多くの共通点が存在しており、これらの本質を理解することが重要である。また、事故の原因は単一ではなく、さまざまな要因が重なり合った結果として発生していることから、多面的に考察することが重要である。

事故防止のためには、大きなハザードが想定される事象には多重化された保安対策と想定実地訓練が必要であり、設備変更時の設計思想等を含めたリスクアセスメント及び教育を行なうことも重要である。

また、日本と欧米の保安に対する考え方には違いがあり、例えば、日本では「努力することで事故は防げる」と考えているのに対し、欧米では「事故は努力しても技術レベルに応じて起こるものである」との違いがあげられる。

本講演では、最近の重大事故を例として、多面的な角度から見た問題点について説明があった。

(2)「化学プラントの保安力と現場管理者の役割」

過去の事故発生状況を見てみると、およそ10年周期で事故が発生しており、過去の事故・トラブル状況調査、自身の経験を合わせて考えると、事故は繰り返すという思いに至る。いくら再発防止対策をしても最後は人の問題である。更には、兆候を嗅ぎ取り、何が問題か論理的に考え、実施内容を決め、明確な指示を出して人を動かすことが現場管理者のはずであるが、現実には、なかなかそのとおりにはできず、同じようなトラブル、事故が繰り返されている。

本講演では、これまで見てきた多くの失敗事例からあるべき姿を考え、どうすべきかについて説明があった。

7. 過去の開催状況

第1回	2009年2月	千葉地区
第2回	2009年8月	水島地区
第3回	2010年2月	四日市地区
第4回	2010年7月	周南地区

第5回	2011年2月	川崎地区
第6回	2011年8月	大分地区
第7回	2012年8月	鹿島地区
第8回	2013年3月	千葉地区

【講演風景】



JSR(株) 四日市研修センター 大会議室にて

以上